



(公社)神奈川労務安全衛生協会
小田原支部
小田原市本町2-3-24
TEL 0465-24-1753
発行責任者 支部長 小池清彦
編集 広報部会

支部長あいさつ及び 令和7年度の活動について

小田原支部長 ^こ ^{いけ} ^{きよ} ^{ひこ}
小池 清彦
三菱ケミカルハイテクニカ㈱



青葉を吹き渡る快い風が吹く頃となりましたが、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

第14次災害防止計画（以下第14次防）の2年目となり、重点課題である「エイジフレンドリー」を支部活動のキーワードに取り組んでまいりました。安全部会による転倒防止活動は、発生状況の調査からの原因分析、対策の分類、具体的展開の議論まで進めました。衛生部会では活動方針を「心とからだの健康促進～人生100年時代に向けて～」と定め、活動方針に沿った健康保持増進セミナーを2年間にわたり企画実施しました。労務部会は、協会全体の課題である会員減少に対し、勧誘活動に取り組むことで減少に歯止めをかけています。広報部会は、地道な支部だより発行業務を継続し「記念200号」をカラー版で発行しました。

令和6年小田原労働局管内での労働災害の発生状況は前年レベルで推移しており、残念ながら3件の死亡災害が発生しています。現在増加している労働災害は人に起因する「行動災害」と言われており、第14次防における「法令順守型から自律的な管理へ」というメッセージにあるように、事業者や労働者の自覚に基づく「行動変容」が改善に向かうポイントになります。

このような状況下、令和7年度も昨年度に引き続き「エイジフレンドリー」をキーワードとした「行動変容」につながる活動を継続し、以下の4つの事業を軸に支部運営を進めてまいります。

- 1 登録教習機関として、法定の技能講習・特別教育等の開催を通じ、労働安全衛生法や関係法令の普及・啓発活動を推進する
- 2 健康保持増進、適正な労働条件確保等のための活動を推進し、労働福祉の向上と産業の健全な発展に寄与する事業を推進する
- 3 「労働災害防止推進計画」と連動した労災防止の各種取り組みを普及促進させ「安全に安心して働ける職場づくり」に取り組む
- 4 公益社団法人として健全な財政基盤維持のため、事業収入の安定化、会員の維持・拡大、運営体制・活動内容の効率化・合理化に取り組む

第14次防の3年目である令和7年度も、会員事業場の皆さんと連携して労働安全衛生活動を展開していきたいと思っておりますので、改めてよろしくお願いいたします。

最後になりますが、小田原支部ならびに会員事業場の益々のご発展と関係各位のご健勝、そして今年度の無事故、無災害を祈念いたしまして、支部長の挨拶とさせていただきます。本年度も計画通りの取り組みを行い、労働災害撲滅に邁進していきましょう。

令和 7 年度の行政運営の重点施策について

小田原労働基準監督署

署 長 ^{ほん}本 ^ま間 ^{きみ}公 ^{のり}紀

公益社団法人神奈川労働安全衛生協会小田原支部の皆様におかれましては、日頃から労働行政の推進に多大なる御理解と御協力を賜りまして、心から感謝申し上げます。

さて、我が国は、少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少という構造的な課題に直面しており、生産性や付加価値を向上させ物価上昇を上回る賃金の引上げを実現していくこと及び女性や高齢者を含む一人ひとりがその能力を十分に発揮し活躍できる環境を整備することが重要となっています。

そのような状況の中、神奈川労働局では、「すべての人がいきいきと働けかながわを目指して」をスローガンとし、令和 7 年度の労働行政の重点施策を「賃金引上げに向けた支援と非正規雇用労働者の処遇改善」、「リ・スキリングの推進」、「人手不足対策」及び「多様な人材の活躍と魅力ある職場づくり」の 4 つの柱としております。ここでは主に労働基準行政に関わっているものについてご案内させていただきます。

賃金引き上げに向けた取り組みにつきましては、最低賃金の周知・監督指導等に取り組むとともに、生産性向上を通じた中小企業等の賃金引き上げを業務改善助成金など「賃上げ」支援パッケージにより支援するほか、中小企業庁等と連携して、適正な価格転嫁の推進を支援するなどの環境整備にも取り組んでまいります。非正規雇用労働者の処遇改善につきましては、点検の要請や支援策の周知を行うことにより企業の自主的な取り組みを促して、同一労働同一賃金の遵守を図ってまいります。

また、神奈川働き方改革推進支援センターにおいては、就業規則の作成方法や賃金規定の見直し、人材不足対応、長時間労働の削減、非正規労働者の処遇改善、ハラスメント対策、労働関係助成金の活用など、労務管理全般に関する相談対応等を無料で行います。

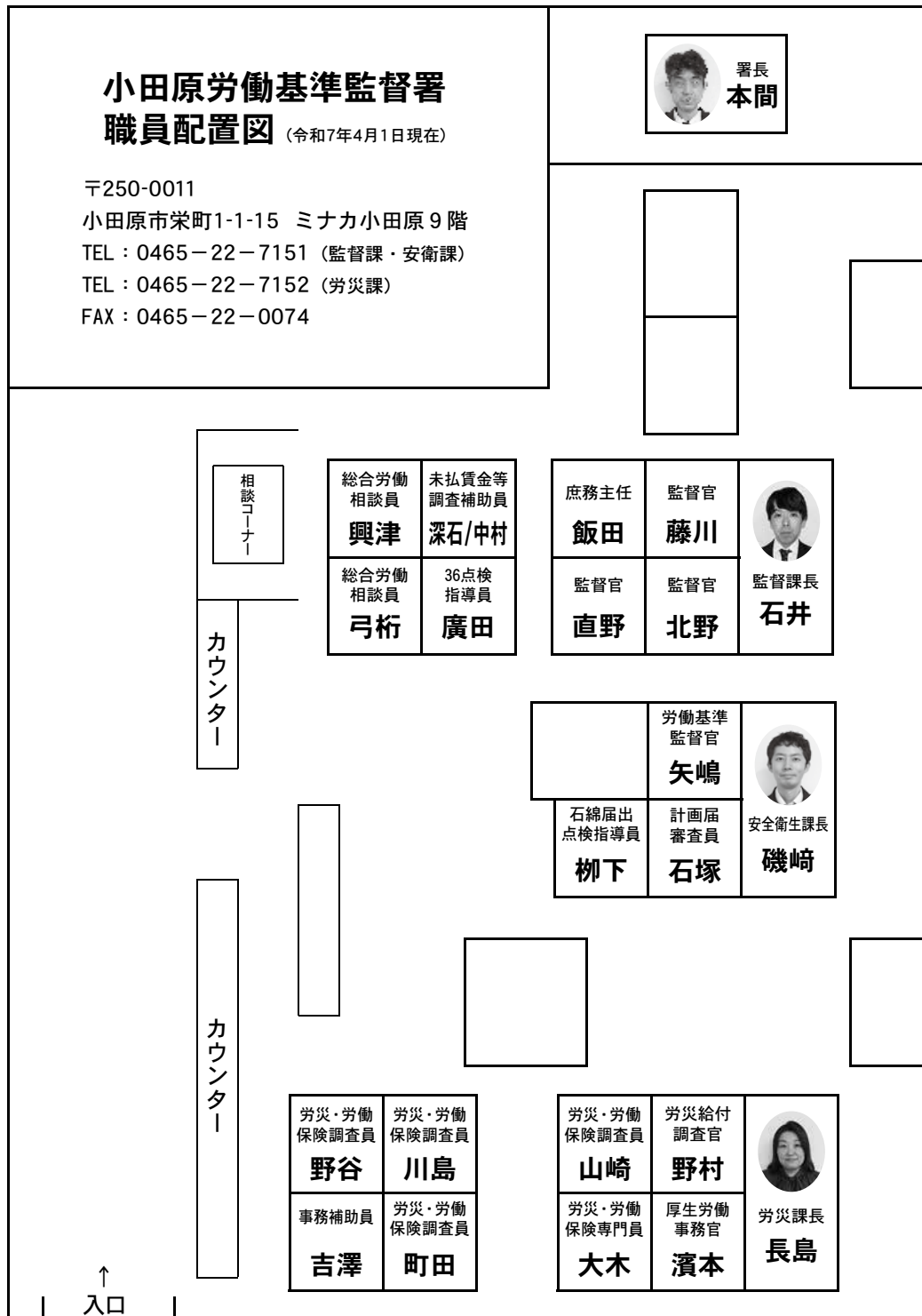
魅力ある職場づくりにつきましては、長時間労働の抑制及び過重労働による健康障害を防止するため、時間外・休日労働時間数が 80 時間を超えていると考えられる事業場、長時間にわたる過重な労働による過労死等の労災請求が行われた事業場に対する監督指導を実施します。また、建設業、自動車運転者に係る時間外労働の上限規制遵守には、建設工事発注者、荷主等の理解が重要であるため、上限規制や配慮の重要性を周知してまいります。

小田原労働基準監督署管内の労働災害発生状況は、令和 6 年の休業 4 日以上労働災害は新型コロナウイルス感染症へのり患によるものを除いて 395 件(コロナを含めると 503 件)で、前年同期比 11 件の増加(同 22 件の増加)となりました。死亡災害につきましては 3 件発生し、大変遺憾な状況にあります。本年度は第 14 次労働災害防止推進計画の 3 年目となります。労働者一人ひとりが安全で健康に働くことができる職場環境の実現のため、取り組んでまいります。

今後の安全衛生対策につきまして、多様な人材が安全に、かつ安心して働き続けられる職場環境の整備を推進するため、個人事業者等に対する安全衛生対策の推進、職場のメンタルヘルス対策の推進、化学物質による健康障害防止対策の推進、機械等による労働災害防止の促進等、高齢者の労働災害防止の推進、治療と仕事の両立支援対策の推進等に係る労働安全衛生法等の改正法案等が成立した場合には、円滑な施行に向けて、改正内容について十分な周知に取り組んでまいります。

労災保険に関しましては、社会的関心が高い過労死等事案については請求件数が年々増加しているところ、認定基準等に基づく迅速・適正な事務処理を一層推進してまいります。

今後とも皆様の御理解、御協力をいただきながら、貴支部との一層の連携を図りながら行政を推進してまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



〈各課主要業務〉

■監督課庶務係

- ☐ 賃金構造基本統計調査
- ☐ その他各種統計調査

■監督課監督係

- ☐ 適用事業報告
- ☐ 時間外休日労働に関する協定届
- ☐ 1ヵ月単位・1年単位の変形労働時間制に関する協定届
- ☐ 就業規則(変更)届
- ☐ 寄宿舎規則・寄宿舎設置届
- ☐ 労働条件等に関する相談

■安全衛生課

- ☐ 特定機械等の設置届・落成検査等
- ☐ 労働者死傷病報告
- ☐ 各種健康診断結果報告
- ☐ 安全管理者・衛生管理者・産業医選任報告
- ☐ 労働安全衛生法等に関する相談

■労災課

- ☐ 労働保険各種届等
- ☐ 労働保険各種請求書
- ☐ 労働保険に関する相談

令和7年度（公社）神奈川労務安全衛生協会 小田原支部 功労賞

令和7年度 定時総会での表彰式



陌間 元晴 様
南開工業(株)



須田 和哉 様
三菱ガス化学(株)山北工場



露木 善久 様
(株)鈴廣蒲鉾本店



高野 大輔 様
大東力カオ(株)中井工場



堂前 篤史 様



高木 智仁 様
日本新薬(株)小田原総合製剤工場 (株)東海ビルメンテナンス

安全優良職長厚生労働大臣顕彰を受賞して

富士フィルムマテリアルマニュファクチャリング株式会社 向山 予人

令和6年度 安全優良職長厚生労働大臣顕彰式典
主催/厚生労働省



今回、栄誉ある顕彰を頂き大変光栄に思うと同時に、これまで業務に携わってきた皆様の多大な力添えによる受賞であり、深く感謝を申し上げます。

式典では一人ひとりお言葉を頂きながら、顕彰状を受け取った時に改めてこの賞の重みを深く実感しました。

今後も職場の安全に努め、後進の育成にもしっかりと注力し今より一層安心して働ける職場環境を構築していく事で「みんなが笑顔になりワクワクする未来を切り拓けるよう」全力で取り組みます。



従業員数 50 人未満の事業者さまへ

地域の産業医による意見聴取 健康相談 保健指導は 無料の健康相談窓口をご利用ください

労働者が心身ともに健康で働き続けられるよう、事業場が行う労働衛生管理を支援するために、労働安全衛生法第66条に基づく健康診断実施後の意見聴取や保健指導、長時間労働者および高ストレス者の面接指導、メンタルヘルス不調者の相談や生活習慣病予防などを、**県西地域産業保健センターでは、地域の産業医による健康相談窓口を無料**で行っています。

1. 健康相談窓口 利用時間 午後1時00分～ 予約制（原則1週間前までにご連絡下さい）
2. 相談日（令和7年5月から令和7年7月までの相談日は次のとおりです）
5月8日(木) 5月15日(木) 5月22日(木) 5月28日(水) 6月4日(水) 6月12日(木)
6月26日(木) 7月4日(金) 7月10日(木) 7月15日(火) 7月24日(木) 7月31日(木)

厚生労働省「産業保健活動総合支援事業」協力：小田原医師会 足柄上医師会

県西地域産業保健センター

〒250-0055 小田原市久野115-2 おだわら総合医療福祉会館4F

TEL：0465-66-6040 E-mail：sanpo@kenseisanpo.jp

FAX：0465-66-6044 ホームページ：https://kanagawa.jphas.go.jp



詳細はQRコードにてご案内します。

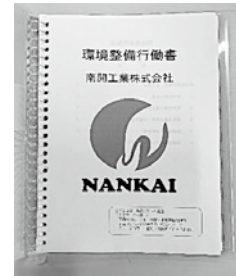
部会紹介シリーズ 第2弾

わが社の安全活動 担当：安全部会

安全部会では小田原地区の労働災害を減らすべく、役員事業場様からの労災アンケートを元に原因の分析や対応策の提言を行っております。一方で安全部会各社においても勿論自社の労働災害削減に取り組んでおり、今回の記事ではそのいくつかを皆様にご紹介いたします。

マニュアル書を活用した安全活動（南開工業㈱ 河野）

・「安全第一」の精神にのっとり、無災害事業場の樹立を目指し、全社員一致協力のもとに自主的な安全衛生活動を推進し安全衛生レベルの向上を図るという方針のもと、当社のマニュアル書を全従業員に配布して手引書として活用しています。また部門毎に環境整備委員会を設置して環境整備の推進を図っております。



「安全人間づくり活動」（㈱クボタケミックス小田原工場 西山）

・危険に気付く「知(知識)」と危険を回避する「技(技能)」を、安全を大切にする「心(意識)」で活用し、いつも安全な行動ができる人を育てることが安全人間づくりです。いくつかのシンプルな安全ルールをガイドラインにし、繰り返し実践することで「型」として身につけ、意識することなく安全行動ができる人になることを目指しています。

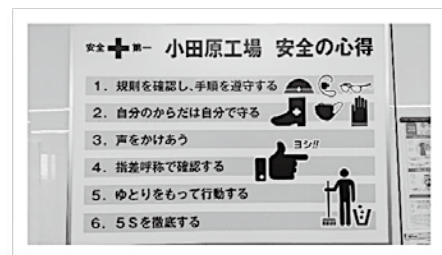


●安全人間基本ガイドライン



自分たちで作った「安全の心得」（Meiji Seika ファルマテック㈱ 内海）

・当社では2020年まで「安全のルール11か条」が存在していましたが、そのルールを遵守しないことが原因の労働災害が毎年発生していました。そこで、「自分たちで作ったルールを自分たちで浸透させていく」といった方向に舵を切り、従業員主体のプロジェクトを立ち上げて2022年に「安全の心得」を完成させました。「安全の心得」は各職場に掲示され、従業員一人ひとりが遵守すべきものとして認識されています。



新規加入会員事業場紹介

- ☆事業場名 株式会社エフシーデリバリー
- ☆所在地 神奈川県南足柄市塚原366-1
- ☆代表者名 代表取締役 澁谷 光広
- ☆設立 2002年12月12日
- ☆従業員数 75名
- ☆事業内容
 - ・一般貨物運送業
 - ・軽貨物運送業
 - ・引越しサービス
 - ・倉庫業





事務局だより

事務局長 鎌田 光郎

4月18日(金)令和7年度定時総会が行われ新年度がスタートしました。本年度も法定講習を軸にタイムリーな課題を取り上げたセミナーを企画します。多くの参加をお待ちしています。

< 5 月 ~ 7 月開催講習会 >

- | | |
|------------------------------|---------------------------------|
| * 化学物質管理者選任のための研修 | * クレーンの運転の業務に係る特別教育 |
| ・ 5 月 13 日 (火) 青色会館 | ・ 6 月 25 日 (水) 青色会館 |
| * 職長教育 | * 保護具着用管理責任者のための研修 |
| ・ 5 月 21 日 (水)、22 日 (木) 青色会館 | ・ 6 月 27 日 (金) 青色会館 |
| * 有機溶剤業務従事者に対する労働衛生教育 | * 衛生推進者養成講習会 |
| ・ 5 月 26 日 (月) 青色会館 | ・ 7 月 3 日 (木) 青色会館 |
| * フルハーネス型墜落制止器具特別教育 | * 新 KYT 基礎実践研修会 |
| ・ 5 月 29 日 (木) 青色会館 | ・ 7 月 8 日 (火) 青色会館 |
| * 安全衛生推進者養成講習会 | * 粉じん作業特別教育 |
| ・ 6 月 4 日 (水)、5 日 (木) 青色会館 | ・ 7 月 10 日 (木) 青色会館 |
| * 全国安全週間 小田原地区推進大会 | * 玉掛けの業務に係る特別教育 |
| ・ 6 月 6 日 (金) 青色会館 | ・ 7 月 23 日 (水) 青色会館 |
| * 安全管理者選任時研修 | * テールゲートリフターの操作の業務に係る特別教育 |
| ・ 6 月 12 日 (木) 青色会館 | ・ 7 月 25 日 (金) 小田原ガス |
| * 特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習 | * リスクアセスメント研修会～自律的な化学物質管理導入に向け～ |
| ・ 6 月 17 日 (火)、18 日 (水) 青色会館 | ・ 7 月 29 日 (火) 青色会館 |
| * 危険体感講習会 | * 研削といし(自由研削用)の取り替え等の業務に係る特別教育 |
| ・ 6 月 23 日 (月) 富士フィルム研修センター | ・ 7 月 31 日 (木) 青色会館 |
| * 熱中症予防管理者教育 | |
| ・ 6 月 24 日 (火) 青色会館 | |

散 歩 道

地球温暖化なのに、この冬はいつものように寒かった気がします。

寒ければ、いつもより寒いからやだ。逆に、暑ければ、いつもより暑いからやだ。60年超えて生きている私。適応性が悪くなっている。適応といえ、今年はいつも1月に咲く梅が咲かず、小田原の梅祭りも満開にはなんとか間に合うか間に合わないかという状況でした。

スギ花粉の飛散遅れはたいへん良いことなのですが、草木の開花はいつもの時に咲いて楽しませて欲しいもの。自然環境に適応性が悪い、わがままな年寄りです。

(広報部会 宇田川)

